

北本市議会議員

大島たつみ

議会報告第6号



プロフィール

1965年（昭和40年）北本生まれ、北本市立中丸小学校、北本市立東中学校、埼玉県立不動岡高等学校、東洋大学経済学部卒業、三国コカ・コーラボトリング他民間企業勤務、衆議院議員公設秘書を経て2011年北本市議会議員当選

〒364-0003

北本市古市場1-36

電話/FAX 048-591-5762

携帯 090-8848-8465

12月定例会「一般質問」

12月議会の一般質問は、防災について、保育所について、臨時財政対策債についての3件を質問しました。主なやり取りについて以下の通りまとめました。

保育所について

質問 保育所の定員、入所、充足率は？

答弁 12月1日現在で北本市、桶川市、鴻巣市について表の通りとなります。

		定員	入所	充足率
北本	公立	430	344	80.0%
	民間	466	408	87.6%
	合計	896	752	83.9%
桶川	公立	426	435	102.1%
	民間	172	186	108.1%
	合計	598	621	103.8%
鴻巣	公立	890	894	100.4%
	民間	475	543	114.3%
	合計	1,365	1,437	105.3%

質問 待機児童は？

答弁 10月1日現在で北本市3人、桶川市3人、鴻巣市11人です。

質問 入所基準の保護者の勤務時間を平成25年度より30時間から24時間に緩和しますが、今後更なる緩和は？

答弁 状況を見ながら検討すべき課題か検討します。

⇒北本市の充足率は100%を切っていますので定員割れです。一方、桶川市、鴻巣市は100%を超え定員以上に受け入れています。北本市においては、施設が適正でないか十分生かし切れていない状態です。これからは少子化が見込まれますから、公立保育所の役割やあり方について、民間保育所とのバランスも考慮して検討していくことが必要です。

⇒保育所だけで基準を緩和した場合には幼稚園の入園状況にも影響が出てきますので、子育ての観点から総合的な検討が重要になります。

防災について

質問 国土交通省が実施した「地震時等に著しく危険な密集市街地」への回答は？

答弁 埼玉県では川口市のみで、北本市には該当地区はありません。

質問 地域防災計画見直しの進捗状況は？

答弁 見直しに当たっては、東日本大震災の教訓を踏まえ、地域の意見を反映し、実効性のある地域防災計画の策定に取り組んでいます。北本市防災会議で審議し、その後パブリックコメントを経て平成24年度末までに地域防災計画を取りまとめます。

質問 具体的な見直し内容は？

答弁 帰宅困難者対策、備蓄資材、広域的な放射能汚染対策、避難所の設置・運営などです。より実効性のある地域防災計画のため、各種マニュアルを作成しています。

⇒この調査は地震時の火災に関するものです。北本市に該当する地区はありませんが、県央広域消防本部と連携して消防施設の整備充実、消防団員の教養訓練等により消防力の充実強化を図り、防火管理者講習会、各施設による消防訓練などを実施し、火災予防の推進に努めています。

⇒地域防災計画については、市内8コミュニティ圏域ごとに地区懇談会を開き、意見や提案を受け入れています。

臨時財政対策債について

質問 臨時財政対策債とは？

答弁 地方財源の不足に対処するため、平成13年度から発行されています。借金ですが、後年度に交付税で措置されます。

質問 今年度の発行額は？

答弁 平成24年度は12億1200万円で、年々増加傾向にあります。

質問 地方債残高をどのように抑制するのか？

答弁 臨時財政債以外の地方債について抑制を図り、予算編成を行いたい。

⇒臨時財政対策債は借金ですが、後から交付税として国から補填されるので、他の借金とは性質が異なります。

⇒前号でも触れましたが、借金に関する指標として実質公債費比率や将来負担比率がありますので、様々な角度から借金を含めた財政状況を注視していきたいと思えます。

3月定例会

平成25年第1回北本市議会定例会（3月定例会）は平成25年2月25日（月）から始まる予定です。